

# 地域包括ケアに関する取組み

早良区

## ○概況

令和8年3月末現在

<b>【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】</b> 早良区は南北に長く北部（商業・文教・交通の拠点）、中部（閑静な住宅地域）、南部（自然豊かな農業・住宅地域）が異なる特性をもつ。面積は7区の中で最も広く、人口は東区、南区、博多区に次いで4番目に多い。 <b>【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】</b> 早良区の高齢化率は年々上昇しており、7区のうち城南区に次いで2番目に高い。高齢化率は、原北校区17.4%から有住校区42.0%と地域ごとに大きな差があり、4校区で35%を超える。（ケビジョン） <b>【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】</b> ・病院が13ヶ所（精神科病院1、地域包括ケア病棟を持つ病院4） ・社会資源、地域コミュニティともに地域の差が大きい。北部は、マンション等集合住宅が多く住民同士の関係も希薄化しており、地域での見守り体制が取りにくい状況にある。南部は、医療機関や介護サービス事業所も少なく、交通不便地域も多い。そのため、自家用車の使用有無により受診や買い物等生活に大きな影響が出てくる。 ・早良区南部や市営住宅、UR団地等の大規模団地が多い校区では、高齢者世帯が増え地域役員の高齢化や担い手不足が大きな課題である。	人口（人）	224,638
	高齢者数（人）	56,318
	高齢化率（%）	25.1
	小学校区数	25
	いきいきセンター圏域数	9

## ○地域包括ケアに関する現状と課題



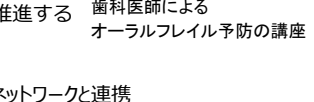
- 地域コミュニティの希薄化やライフスタイルの変化により、地域活動の担い手が不足し次世代の担い手も不足している。役員の高齢化に伴い、働いている世代が活動しやすい地域づくりを考えていく必要がある。
- 成年後見制度が変わりつつある中、制度を補完し本人の意思決定を支援する地域における仕組みづくりが必要である。
- 医療・介護職の人材確保、必要な技術が提供出来る人材育成のための体制づくりが必要である。
- 高齢者の移動手段の確保が課題。交通不便地のみでなく街中でも集いの場などへの移動手段がなく、参加したくても行けないという状況がある。

## 1. 令和8年度取組みの中で、特徴あるもの

### 取組み内容

#### 早良区における地域包括ケアシステム推進について

##### 1 地域での取組みを応援するメニュー：

公民館での地域包括ケア関連講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアに関する5分野の講座を公民館や地域の専門家と共働して実施していきます。<b>【地域包括ケア関連講座 テーマ】</b></li> <li>「介護」若い世代向け親子で考える介護の備え講座、知った介護保険</li> <li>「住まい」高齢者の施設・住まいについて</li> <li>「医療」在宅医療でできること、かかりつけ医あります？、お薬の話</li> <li>「生活支援」消費者被害、孤立死について考える、マイエンディングノート、終活</li> <li>「保健(予防)」オーラルフレイル予防講座、知ってる？フレイル、健康寿命と食生活</li> <li>その他、地域包括ケアに関する講座について開催支援します。</li> <li>・地域包括ケアに関する映画の上映を実施します。</li> <li>・若い世代へ介護の備えを伝える取組みを推進します。</li> </ul>	
認知症支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座、認知症ステップアップ講座、を通して、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」を増やします。</li> <li>・認知症の早期発見、早期相談につながるためのリーフレットを配布し、啓発を行います。</li> <li>・世界アルツハイマーデーに合わせて、区内の図書館などの施設で啓発を推進します。</li> <li>・認知症の人へのコミュニケーション・ケア技法のひとつであるユマニチュード（R）の普及啓発、(DVDの貸出)等を行います。</li> <li>・認知症本人ミーティング「こここんね」を開催します。</li> </ul>	
オーラルフレイル予防を含むフレイル予防の啓発強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診を受けて病気を予防・早期発見することで、健康寿命の延伸を目指します。</li> <li>・認知症予防や生活習慣病・フレイル予防等の健康講座、生き活き講座などを実施します。</li> <li>・よかとろ実践ステーションや運動の自主グループなど、身近な場所での健康づくりや仲間づくりをお手伝いします。</li> <li>・区歯科医師会等と共働して、お口から健康づくりに取り組む実践的な講座を行い、<b>オーラルフレイルを予防</b>します。</li> </ul>	
「高齢者地域支援事業」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区や町内会単位で、支え合い助け合いの仕組みづくり等について話し合い（<b>高齢者地域支援会議</b>）、地域の実情に応じて、できることから実施していく取組みです。</li> <li>・地域の活動団体が参加し、相互に連携することで、課題解決に向けた取組みが進めやすくなります。</li> </ul>	

**2 オーラルフレイル予防事業：** 区歯科医師会、大学、歯科衛生士会等と連携して事業を推進する

**3 早良区みらい準備プロジェクト実施に向けワーキングを開催：** 歯科医師によるオーラルフレイル予防の講座

若い世代に「介護の備え」を伝えるプロジェクト実施に向けて、事業所ネットワークと連携

## 2. 令和7年度の取組み状況

### (1) 地域ケア会議の状況

#### ① 個別支援における成功事例、課題など（個別支援会議の傾向など）

・認知症、家族の介護負担、キーパーソン不在、8050問題など複合的な課題を抱える事例が多く、様々な機関に出席を依頼し課題解決に向けて連携を図っている。  
 ・経済困窮や金銭管理が課題となることが多く、早期から専門職への相談や成年後見制度の普及啓発・利用促進の取組みが重要。  
 個別支援会議開催状況 ・会議回数：95回(うち介護予防型個別支援会議22事例)

#### ② 住民同士の助け合い・支えあい活動

##### ○高齢者地域支援事業

###### 【飯倉校区の取組み】

「飯倉校区高齢者地域支援を考える会」を平成28年度から継続して開催し、見守り等の高齢者支援に取り組んできました。近年の課題として、地域だけでの高齢者の見守り支援などが困難な状況が挙げられていました。

今年度、課題解決の一步として、公民館を拠点に全町内会と校区内民間事業者をつなぐ連絡体制、通称「いいNavi」を立ち上げ、安心して暮らせるまちを目指した取組みが進められています。



「いいNavi」ステッカー  
協力業者に配布



###### 【有住校区の取組み】

「校区の自慢、こんな校区になったらいいな」をテーマにワークショップを開催。住民同士が「つながり・笑顔がひろがり・絆がふかまる」まちを目指し、皆さんの意見を基に、「つながりプラン」「ひろがりプラン」「ふかまりプラン」の3つのプランがまとめられました。一人ひとりの生活スタイルに合わせた活動につながるように、有住校区の具体的な取組みや、校区のテーマソング～有住の絆～が示されています。



高齢者地域支援会議  
開催状況

・会議開催校区（地区）数：14校区（地区）、延べ回数：20回  
 ・検討内容：高齢者の課題等について意見交換し、地域で高齢者を支えるための取組みを検討し、できることから実施する。

#### ③ 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み



オールフレイル予防のためのリーフレット

##### ■オールフレイル予防事業

早良区歯科医師会、福岡歯科大学、福岡県歯科衛生士会と協力して介護予防講演会実施。

##### ■多職種連携研修会

- ・第1回：看取り(グループワーク)
- ・第2回：オールフレイル・口腔ケア
- ・第3回：救急医療の現状について

##### ■医療機関・薬局・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを巡回

圏域連携会議  
開催状況

・会議回数：8回（第2.3.5.6.7.8.9圏域）  
 ・テーマ：私たちにできる防災について考える、民生委員・児童委員と圏域ケアマネの交流会等をテーマに開催

#### ④ 区レベルの取組み（特徴ある取組み）

##### ■早良区版地域包括ケアシステムの推進

- ・公民館を主体とした「地域包括ケア関連講座」（地域の専門職と連携して地域包括ケアの5分野に関する講座）の開催
- ・映画『お終活 熟春！人生、百年時代の過ごし方』を公民館で上映。エンディングノート等関連資料一式を配布12回608名
- ・歯科医師会、大学等と連携した「オールフレイル予防事業」：全校区で実施、オールフレイル予防委員会：6回、リーフレット増刷など

##### ■区地域包括ケア推進プロジェクト会議 2回

・区レベルでの地域包括ケア推進体制を構築するため、関係課9課で開催。各課における地域包括ケアに関する取組みの共有を行っている。（総務課、企画課、地域支援課、生涯学習推進課、保険年金課、福祉・介護保険課、健康課、支援調整課、地域保健福祉課）

区地域包括ケア  
推進会議開催状況

・区地域包括ケア推進会議 1回  
 ・部会 ①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会1回 ③生活支援・介護予防部会1回

### (2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	具体的内容
在宅地域リーダー会議	5回 在宅医療・介護連携の取組み支援に向けた協議（多職種連携研修や市民公開講座の企画）
多職種連携研修会	3回 多職種連携に関するテーマ等で開催。グループワークでは視点の違いを理解することができた。
在宅医療に関する市民公開講座	1回 オールフレイル・口腔ケアをテーマに基調講演を開催 29名参加
①ケアマネ連絡会（ケアマネットさわら） ②医療ソーシャルワーカー交流会	①2回 ②企画会2回、開催1回
事業所ネットワークの活動	事業所ネットワーク4か所(さわらにねっと、介護ネットさわら中央、さわらまんなかネット、さわら南よかとこネット) ・事業所ネットワーク交流会：1回 ・認知症サポーター養成講座や公民館講座等で地域との連携を深めている。また、買い物支援等地域と協働しながら社会資源を補う取組みを展開している。
弁護士と包括職員（社会福祉士）と勉強会	虐待や処遇困難の事例検討を行い、法律の視点から助言を受ける。